

# 令和元年度 清原北小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

「人間尊重の教育」を基盤に、自ら考え、正しく判断し、豊かな心をもって、たくましく生きる児童を育成する。

【考え深く】

【こころ豊かで】

【たくましく】

活用期	・ 自ら考え、工夫する子	・ こころ豊かで思いやりのある子	・ 気力と体力のあるたくましい子
基礎期	・ 自分で考え、学習する子	・ 親切で思いやりのある子	・ 元気でがんばる子

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

【小規模特認校として、保護者や地域から信頼され連携・協力しながら、夢と理想をもって共に成長していく学校】

小規模特認校として、保護者・地域と共に新しい学校を創っていくことが重要である。まず、教職員が「児童と共にある教育活動」の実践を通して信頼を得て、学校が地域の核となり、保護者や地域を巻き込みながら教育環境の充実・向上に努力し、特色ある学校としての評価を高める。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

《基本方針》

「小規模特認校として、保護者や地域から信頼され連携・協力しながら、夢と理想をもって共に成長していく学校」

視点①【達成感と成就感】

児童一人一人が目あてをもって、生き生きと学習や活動に取組み、達成感や成就感を味わうことのできる学校

視点②【個性と認め合い】

児童のよさや個性が発揮でき、お互いが認め合い、励まし合いながら伸びていこうとする気風が満ちている学校

視点③【気力と体力】

児童自らが、体力・健康・食生活の向上・安全を関連付けた望ましい生活習慣を身に付け、気力と体力が充実している学校

[清原地域学校園教育ビジョン]

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む児童生徒の育成  
～人との豊かなかかわりを通して～

## 4 教育課程編成の方針

- ・ 国・県・市の示すところに従い、公教育の立場を堅持し調和と統一ある教育課程を編成する。
- ・ 児童の生きる力を育むこと、成長するための基盤を培うことを目指す。
- ・ 小規模特認校として、児童の実態や学校の特色、地域の教育力を生かして家庭や地域との連携を図る。
- ・ 教育課程を介して目標を学校と保護者、地域が共有し、教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようになるのかを明確にしながら、保護者や地域との連携・協働によりその実現を図る。

## 5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- 小規模特認校として、学校・家庭・地域が互いに連携を深め、地域の教育力を高めるとともに、小中一貫教育の基本方針に沿いながら学校力の向上を図る。
- ・ 教職員として自己研鑽を積み、専門職としての資質・能力を高め、協働しながら教科・学級・学校経営の適正化を図る。
- ・ 業務の効率化や適正化を図るとともに、勤務時間を意識した働き方を推進する。

【学習指導】

- ・ 個に応じた細やかな指導により、「基礎学力の定着」を図る。
- 児童生徒と達成感や成就感を共有し合うことにより「学ぼうとする力」を育成する。

【児童生徒指導】

- ・ 自分のよさや可能性を認識し、進んで課題解決や目標達成に取り組むための資質・能力として「自己肯定感」を育む。
- 認め合い、励まし合い、協力し合える豊かな人間関係を築き、「ともによりよく生きようとする心」を育成する。

【健康（体力・保健・食・安全）】

- 体力向上・健康増進・食生活の充実・安全に関する望ましい生活習慣を身に付けさせ、心身ともに「健康で安全な生活を創る力」を育成する。

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
指導する児童の姿	<p>A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童 80%以上</p>	<p>① 各教科等や学習活動におけるねらいや目標を明確にし、達成することで新たな意欲がもてるよう、指導支援の充実に努める。</p> <p>② 「わかる・できる」授業を目指し、学年の発達段階に応じた指導方法を工夫する。</p> <p>③ 校内研修を充実させ、授業力の向上に努める。</p>	A	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 95.9%</p> <p>【次年度の方針】 ① ねらいや目標を明確にし、見通しをもたせた授業を行うと共に、ふり返りについても書き方を指導し、個人内の変容や価値の一般化を図れるようにする。 ② 単元によって習熟度別学習を適切に取り入れ、学習内容の定着を図る。 ② 年間指導計画の自校化を図り、新学習指導要領に則った研修を計画的に実施する。</p>
	<p>A2 児童は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒教職員 80%以上</p>	<p>① 「ハッピーな一ページ」を活用し、自分や友達の良い所を積極的に認める。</p> <p>② 道徳科の授業において、話し合い活動やロールプレイングを積極的に取り入れ、思いやりの心について考える機会を多く作る。</p> <p>③ 「ふわふわ言葉」を推奨し、<u>優しい言葉遣いで相手に接することができるようにする。</u></p>	B	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 77.7% 教職員の肯定的回答 89.5%</p> <p>【次年度の方針】 ① 掲示物「ハッピーな一ページ」による良い所紹介や、道徳科の授業を中心に多様な考えや価値観を認め合う機会を多く作る。 ② 「ふわふわ言葉」を推奨し、<u>優しい言葉遣いで相手に接することができるようにする。</u></p>
	<p>A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、きまりやマナーを守って生活している。」における肯定的回答 ⇒教職員 80%以上 ⇒保護者 80%以上</p>	<p>① 基本的な生活習慣の定着のため、決まりやマナーについて教職員の共通理解を図るとともに学校や学級での様子を積極的に発信し、保護者の理解・協力・連携を強化していく。</p> <p>② 年度当初に学級できまりやマナーの確認をしたり、児童会主体で啓発活動を行ったりすることにより、全児童が同じ価値観を共有しながら実践できるよう指導する。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 89.5% 保護者の肯定的回答 87.0%</p> <p>【次年度の方針】 ① 基本的な生活習慣定着のため、教職員の共通理解を図るとともに学校や学級での様子を積極的に発信し、保護者の理解・協力・連携を引き続き強化していく。 ② 年度初めに学級できまりやマナーの確認や、児童会を主体に啓発活動を行い、全児童が同じ価値観を共有しながら実践できるよう指導していく。また、児童が自らマナーやきまりを再確認できるように可視化する。</p>

<p>A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒保護者 80%以上</p>	<p>① <u>異学年でのあいさつ運動を行う等、自治的な活動を推進する。教職員は、自分から積極的にあいさつするとともに保護者や地域への啓発活動を継続する。</u></p> <p>② 4月から12月まで継続的にあいさつ運動を行うとともに、あいさつ運動の際に保護者の参加を呼びかけ、あいさつへの意識を高めていく。</p> <p>③ 児童会においてあいさつを励行し、気持ちのよいあいさつをしている児童を表彰する。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 87.6% 保護者の肯定的回答 85.5%</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① <u>異学年でのあいさつ運動を行う等、自治的な活動を推進する。</u></p> <p>② <u>保護者へもあいさつの励行を呼びかけ、教職員や保護者から積極的にあいさつをし、大人があいさつの模範となるようにする。</u></p> <p>③ 児童会においてあいさつを励行し、気持ちのよいあいさつをしている児童を紹介する。</p> <p>④ 休み時間に廊下で先生とすれ違った際は、互いにあいさつや会釈をする。</p>
<p>A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒教職員 80%以上</p>	<p>① <u>各種検定（鉄棒・水泳・縄跳び）や大会（マラソン・縄跳び）において、今年度の目標値を設定させるとともに、保健・体育委員会の児童が「運動教え隊」を結成して児童同士で運動し合える場を確保する。</u></p> <p>② 各教科及び各行事において、ねらいを明確にさせるとともに、振り返りを確実に行って次への意欲付けを図る。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 81.0% 教職員の肯定的回答 89.5%</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① <u>各種検定（鉄棒・水泳・縄跳び）や大会（マラソン）において、今年度の目標値を設定させるとともに、中間にも目標値の確認を行い、必要に応じて目標の修正を行う。</u></p> <p>② 保健・体育委員会の児童が「運動教え隊」を結成して児童同士教え合う場を確保するとともに新しい遊びで遊ぶ姿を見せ、自然に日常運動につなげさせる。</p> <p>③ 各教科及び各行事において、振り返りを確実にを行い、自己の変容を確認させる。</p>
<p>A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 における肯定的回答 ⇒教職員 80%以上 ⇒保護者 80%以上</p>	<p>① <u>学年スクスク、全校スクスクなどで健康指導を行い、児童の意識向上を図る。</u></p> <p>② スクスクウィークや長期休業中のスクスクチェックにより、家庭での生活習慣への意識を高める働きかけを行う。</p> <p>③ 交通安全教室や避難訓練を通して、児童自身の判断力を育て、緊急時に適切な対応ができるよう指導する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 94.7% 保護者の肯定的回答 90.8%</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① <u>「学年スクスク」、「全校スクスク」などで健康指導を継続するとともに、家庭でも児童のよさや頑張りが話題になるように家庭への周知を行う。</u></p> <p>② 「スクスクウィーク」や長期休業中の「スクスクチェック」により、家庭での生活習慣への意識を高めるとともに、できている児童への称賛を確実にを行う。</p> <p>③ 交通安全教室や避難訓練を通して行った振り返りを活用し、指導や称賛を行い児童自身の適切な判断力の向上を図っていく。</p>

<p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒保護者 80%以上</p>	<p>① 係活動・委員会活動・清掃活動において、定期的に振り返りを行い、取り組みを確認させるとともに、児童同士が協力して活動を行えるようにグループ編成を工夫する。</p> <p>② <u>昼会スピーチにおいて、頑張っていることなどについて話したり、友達の話を聞いたりすることにより目標に向かって努力することの大切さに気付かせる。</u></p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 81.0% 保護者の肯定的回答 78.7%</p> <p>【次年度の方針】 ① 係活動・委員会活動・清掃活動において、定期的に振り返りを行い、取り組みを確認させるとともに、児童が意欲的に活動を行えるようにグループ編成を工夫したり問題解決的な課題を設定したりする。</p> <p>② <u>昼会スピーチにおいて、頑張っていることなどについて話したり、友達の話を聞いたりすることにより、目標に向かって努力することの大切さに気付かせるとともに、スピーチ後、学級でもスピーチの内容について話題を広げたり頑張り認めたりする機会を作る。</u></p>
<p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。」における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上</p>	<p>① 朝の放送や献立発表を英語と日本語の両方で、継続して行う。</p> <p>② AETが朝の準備や清掃、給食指導などの機会を捉えて英語で話しかけ、担任も英語を使ってほめたり励ましたりすることにより英語表現に慣れさせ、自然なコミュニケーションを推進する。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 84.3% 教職員の肯定的回答 84.2%</p> <p>【次年度の方針】 ① 児童の興味関心や発達段階に応じて、英語での朝の放送や、献立発表を引き続き行う。</p> <p>② 引き続き、AETや担任が日常の中で積極的に英語で話したり、やり取りを見せたりして英語表現に慣れ親しませる。</p>
<p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」における肯定的回答 ⇒児童 80%以上</p>	<p>① 生活科・社会科・総合的な学習の時間を活用し、郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情をもてるような教育活動の展開を図る。</p> <p>② 地域素材を生かした活動を積極的に取り入れた教育活動に取り組む。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 69.4%</p> <p>【次年度の方針】 ① 生活科・社会科・総合的な学習の時間を活用し、宇都宮の歴史や伝統文化、産業等を理解したり、地域素材を活かした教育活動の展開・充実を図ったりすることにより、良さを実感させる。</p> <p>② 道徳科の時間を活用し郷土を愛する心情を育む。</p>
<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒教職員 80%以上</p>	<p>① 図書館司書と連携を図り、各教科において積極的に図書館を利用する場面を洗い出したり、低学年において週1回図書館を利用する時間を位置づけたりする。</p> <p>② ICTが効果的に活用できる単元を年計に位置付けるとともに、過去の実践を参考に利用していく。</p> <p>③ デジタルカメラなどを児童が手軽に活用できるように基本的な操作方を指導するとともに、活用する場を多く設ける。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 85.8% 教職員の肯定的回答 100%</p> <p>【次年度の方針】 ① 図書館司書と連携を図り、各教科において積極的に図書館を利用する場面を洗い出したり、低学年において週1回図書館を利用する時間を位置づけたりする。</p> <p>② プログラミング教材等、児童が利用しやすいように環境整備を図る。</p> <p>③ デジタルカメラなど児童が手軽に活用できるように基本的な操作方法（動画を含む）を指導するとともに、活用する場を多く設ける。</p>

	<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわり の心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても思いやりの心をもっている。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上 」</p>	<p>① <u>生活科や総合的な学習の時間、会話科などで交流する際に、高齢者の方の立場や気持ちなどを考える場を設けた上で実践できるよう指導する。</u></p> <p>② 道徳科の授業において、話し合い活動やロールプレイングを積極的に取り入れ、思いやりの心について考える機会を多く作る。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 77.7% 教職員の肯定的回答 89.5%</p> <p>【次年度の方針】 ① <u>生活科や総合的な学習の時間、会話科などで交流する際に、高齢者の方の立場や気持ちなどを考える場を設けた上で実践できるよう指導する。</u> ② 地域教材（天祭、梨、生き物調査）を扱う際に、高齢者の努力により地域が現在のように住みやすくなっていることを指導する。 ③ 地域の方の協力に対し、お礼の手紙を書くなど感謝の気持ちを育んでいく。</p>
	<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒教職員 80%以上</p>	<p>① 総合的な学習の時間を活用し、環境や国際理解、防災や食に関する指導をするなど、地域素材を活かした教科の枠を超えた横断的な指導の立案・実施・見直しを行う。</p> <p>② 日々の学校生活の中で、環境問題や防災等について意図的に話題にしたり、持続可能な社会に関わる本を紹介する読書活動を行ったりすることで、自分たちの生活と地球規模の課題がつながっていることへの関心をもたせる。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 81.8% 教職員の肯定的回答 78.9%</p> <p>【次年度の方針】 ① 社会科や総合的な学習の時間、英会話の時間を活用し、環境や国際理解、防災や食に関する指導を行ったり、横断的な指導を実施したり、工夫・改善する。 ② 環境問題や防災等について意図的に話題にしたり、持続可能な社会に関わる本やニュースを紹介したりすることで、自分たちの生活と地球規模の課題がつながっていることを意識させ、関心をもたせる。</p>
	<p>B2 児童は、積極的に自分の考えを表現したり、相手の話を聞いたりしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、積極的に自分の考えを表現したり、相手の話を聞いたりしている。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒教職員 80%以上</p>	<p>① 清北タイムの諸活動において、児童の主体的な活動を重視して展開したり、スピーチの場を計画的に位置づけたりする。</p> <p>② 表現力やコミュニケーション力の育成を図るため、校内研修を行い、各教科や会話科の指導内容・方法・評価などの工夫改善に努める。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 80.2% 教職員の肯定的回答 88.9%</p> <p>【次年度の方針】 ① 引き続き、児童の主体的な活動を重視して展開したり、スピーチの場を計画的に位置づけ聞き手を意識したスピーチの指導を行ったりする。 ② 表現力やコミュニケーション力の育成を図るため、各教科や会話科において聞くことを重視した授業の展開を工夫する。</p>
<p>目指す学校の姿</p>	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上</p>	<p>① 習熟度別・少人数指導の推進、特別支援教室の活用、個に応じた支援の工夫などを行い、指導の充実を図る。</p> <p>② スクールカウンセラーや市教育センターなど関係機関と連携を図り、工夫・改善を行いながら、児童の実態に応じた適切な指導・支援を行う。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 100%</p> <p>【次年度の方針】 ① 少人数指導の推進、かがやきルームの活用、個に応じた支援の工夫などを行い、適切な支援ができるよう配慮する。 ② スクールカウンセラーや市教育センターなどの関係機関と連携を図り、児童の実態に応じた適切な指導・支援が行えるよう工夫・改善していく。</p>

<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒保護者 80%以上</p>	<p>① 昼会タイムを活用し、代表児童による「いじめゼロ」に関するキーワードの発表を行い、いじめをしないための心構えや気持ちの持ち方を示す。</p> <p>② 「児童総会」や「いじめゼロなかよし集会」において、校長講話や児童会による啓発活動を行い、よりよい人間関係作りに努める。</p> <p>③ 日々の様子やいじめアンケート、教育相談などをもとに、いじめの早期発見に努め、毅然とした態度で指導を行う。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 100% 保護者の肯定的回答 81.1%</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 「いじめは絶対にダメ」ということを継続指導し、いじわる、嫌がらせなどにも厳しく指導する。</p> <p>② 「児童総会」や「いじめゼロなかよし集会」において、校長講話や児童会による啓発活動を行い、よりよい人間関係作りに努める。</p> <p>③ 日々の様子やいじめアンケート、教育相談などをもとに、いじめの早期発見に努め、毅然とした態度で指導を行う。</p>
<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒保護者 80%以上</p>	<p>① 「<u>「ハッピーな一ペー号」</u>を活用し、<u>友達の良い所を積極的に認めることで、一人一人の自己肯定感を高める。</u></p> <p>② 学級活動や学校行事など特別活動における一人一人の活躍の場を設け、活動後にその頑張りを称賛する。</p>	<p>【【達成状況】】 児童の肯定的回答 94.2% 保護者の肯定的回答 89.5%</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 「<u>「ハッピーな一ペー号」</u>を活用し、<u>友達の良い所を積極的に認めることで、一人一人の自己肯定感を高める。</u></p> <p>② 学級活動や学校行事など特別活動において、個性や特技を生かすなど活躍の場を設け、活動後にその頑張りを称賛する。</p> <p>③ お互いが個性を理解し、よりよい人間関係作りができるよう協働作業等を取り入れる。</p>
<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上</p>	<p>① 日本語指導ボランティアや特別支援教室との連携を図りながら、生活や学習に必要な日本語表現を身に付けさせる。</p> <p>② 異なる文化慣習について、学級での指導を十分に行い、互いの文化を大切にしようとする心情を育てる。また、調理実習や宿泊学習等で必要な配慮を行う。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 100%</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 日本語指導ボランティアや特別支援教室との連携を図りながら、生活や学習に必要な日本語表現を身に付けさせる。</p> <p>② 道徳や英会話の時間において、異なる文化慣習について話題にするなど学級での指導を十分に行い、互いの文化を大切にしようとする心情を育てる。また、調理実習や宿泊学習等で必要な配慮を行う。</p>

<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒保護者 85%以上</p>	<p>① 各教科等や学習活動におけるねらいや目標を明確にし、達成することで新たな意欲がもてるよう、支援の充実に努める。また、振り返りを行い、自己の成長を感じられるようにさせる。</p> <p>② <u>小規模校の特性を生かし、一人一人を大切にされた教育活動（昼会スピーチ・献立発表）の展開、異学年交流（縦割り班活動・清掃）の推進を図る。</u></p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 89.3% 保護者の肯定的回答 93.1%</p> <p>【次年度の方針】 ① 各教科等や学習活動におけるねらいや目標を明確にし、達成することで新たな意欲がもてるよう、支援の充実に努める。また、振り返りを行い、自己の成長を感じられるようにさせるとともに、必要に応じて繰り返し取り組める場を設け、振り返りが生かせる場を設定することで児童の意欲の向上を図る。</p> <p>② <u>小規模校の特性を生かし、一人一人を大切にされた教育活動（昼会スピーチ・献立発表）の展開、異学年交流（縦割り班活動・ふれあいタイム等）の推進を図ることに加え、話す相手を意識させた指導を行っていく。</u></p> <p>③</p>
<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上</p>	<p>① 各調査や学級における児童の実態を担任や特別支援教室担当教員、学力向上担当教員、保護者が共有し、それをもとに学級及び児童各個人の適切な目標を設定しながら学力向上に努める。</p> <p>② 日常の授業実践を重視し、児童の学習状況を的確に把握することにより、朝の学習の時間に補充的な学習を行うなど、学習内容の確実な理解と定着を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 96.7%</p> <p>【次年度の方針】 ① 各調査や学級における児童の実態を担任や特別支援教室担当教員、学力向上担当教員、保護者が共有し、それをもとに学級及び児童各個人の適切な目標を設定しながら学力向上に努める。</p> <p>② 日常の授業実践を重視し、児童の学習状況を的確に把握することにより、朝の学習の時間や学習相談タイムを効果的に活用し、学習内容の確実な理解と定着を図る。</p>
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上</p>	<p>① 様々な教職員が連携、協力して取り組むことにより、学習指導や児童指導を充実させる。</p> <p>② 栄養士、司書、AET、特別支援教室担当教員、学力向上担当教員など多様な専門性を有する学校スタッフの各種行事等での役割を、実施計画に明確に位置づける。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 100%</p> <p>【次年度の方針】 ① 共通理解すべき事項について、打合せ・回覧などによる周知を徹底し、全職員が連携、協力して、学習指導や児童指導に取り組める体制を強化する。</p> <p>② 栄養士、司書、AET、特別支援教室担当教員、学力向上担当教員など多様な専門性を有する学校スタッフの各種行事等での役割を、実施計画に明確に位置づける。</p>

<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒教職員 80%以上</p>	<p>① 最低月一回のリフレッシュデーを設け、計画的に業務を行い、定時退勤を心がける。</p> <p>② ミライムによる出退勤時刻の管理を自分自身で行うことにより、勤務時間厳守の意識を高める。</p> <p>③ 事務スタッフなどの職員が、教員の事務作業等を集約して実施することにより、業務の効率化を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 94.7%</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 月一回のリフレッシュデーを設定することにより、計画的に業務を行い、定時退勤を心がける。</p> <p>② 出退勤時刻を自分自身で管理したり、目標退勤時刻を各自が決めて業務を行ったりすることで、勤務時間厳守の意識を高める。</p> <p>③ 事務スタッフなどの職員が、教員の事務作業等を集約して実施することにより、業務の効率化を図る。</p>
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒保護者 80%以上</p>	<p>① 地域学校園における乗り入れ授業やあいさつ運動、授業研究会、中学校訪問等の充実を図り小中間での連携を深める。</p> <p>② 取組の様子を各種便りやHP等で公開・発信する。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 83.8% 保護者の肯定的回答 81.0%</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 地域学校園の分科会で指導方針等の共通理解を図り指導していくとともに、乗り入れ授業やあいさつ運動、中学校訪問を充実させ、小中学校間の連携を強化する。</p> <p>② 小中一貫教育に関する取組の様子を「小中一貫教育コーナー」に掲示し、HP、懇談会を活用して発信し、周知していく。</p>
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上</p>	<p>① 特認校としての特色ある教育活動を学校経営の軸として教育課程に位置付け、学校と家庭・地域の双方向的な関係としての「地域とともにある学校」を実践する。</p> <p>② <u>生活科や社会科、総合的な学習の時間を通して、地域の方から板戸町の文化や自然、歴史等について学ぶ「板戸学習プログラム」を実施する。</u></p> <p>③ 学校と保護者・地域が連携・協働体制を確立し「学校地域秋季大運動会」や「きよきた船頭まつり」などの「地域連携プログラム」を実施する。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答 93.0% 地域住民の肯定的回答 100%</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① <u>特認校として家庭・地域・企業と連携した特色ある教育活動（「板戸学習プログラム」「地域連携プログラム」）を教育課程に位置付け、年間指導計画を見直し、改善を図りながら実践していく。</u></p> <p>② 各行事において、地域の教育力を生かした取組ができるよう継続して実施するとともに、取組の様子を掲示し、意識を高める。</p>

<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上</p>	<p>① 家庭訪問・授業参観・三者懇談を計画的に行ったり、学年だよりに学校教育活動の意図や児童の成長の様子等を「心の広場」として掲載したりすることで、家庭との連携・協力を図る。</p> <p>② <u>地域学校園クリーン活動やPTA奉仕作業など、学校と家庭・地域が連携協力した学校環境整備作業等を実施し、奉仕の心を育む。</u></p> <p>③ <u>外部講師や各種関係団体を招いての特色ある教育活動を計画・実施し、主体的に学ぶ姿勢や地域を愛する心を育てる。</u></p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答 93.0% 地域住民の肯定的回答 100%</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 家庭訪問・懇談会等の機会や学年だより等の各種便り、学校活動の掲示物、連絡帳を通して、教育活動の方針や児童の成長の様子を伝え、家庭との連携・協力を図る。</p> <p>② <u>学校・家庭が連携協力した環境整備作業や外部講師・各種団体を招いた教育活動を計画・実施し、より主体的に学ぶ姿勢や地域を愛する心を育てていく。</u></p>
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 80%以上 ⇒保護者 80%以上</p>	<p>① 授業時間帯に門扉・校舎出入口の施錠を徹底するとともに、<u>防犯対策について表示することで、児童・来校者への防犯意識を高める。</u>(インターフォンでの対応)</p> <p>② 駐車場等での規則について周知・徹底することで交通事故の防止に努める。</p> <p>③ <u>暑さ指数の掲示や、保護者への周知、行事の際の暑さ対策を徹底するなどにより、熱中症事故等の防止につとめる。</u></p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 100% 保護者の肯定的回答 92.9%</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 授業時間帯に門扉・校舎出入口の施錠を徹底するとともに、<u>防犯対策について表示することで、児童・来校者への防犯意識を高める。</u>(インターフォンでの対応)</p> <p>② 駐車場等での規則について、お願いの手紙を配布したりPTA総会等で話題にしたりするなど、周知・徹底することで交通事故の防止に努める。</p> <p>③ <u>暑さ指数の掲示や、こまめな水分補給など、常時、暑さ対策を周知・徹底することで熱中症事故等の防止につとめる。</u></p>
<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒教職員 80%以上</p>	<p>① 授業内容の定着や発展的学習で、パソコン室や図書室を活用し、学習内容の理解を深める。</p> <p>② デジタル教科書やメディア教材を授業で積極的に活用することにより、「わかる・できる」授業の展開を工夫する。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 85.8% 教職員の肯定的回答 100%</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① デジタル教科書等のメディア教材、パソコン室・図書室等の特別教室を積極的に活用することで、学習内容の理解を深める。</p> <p>② 蔵書の充実を図るため、「地域学校園での蔵書貸し借りの制度」を活用する。</p> <p>③ 学年に応じたプログラミング教育を実践できるように、プログラミング教材を活用しやすいように整えたり、教員が研修する機会を設けたりする。</p>

<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B1 学校は、地域の素材や教育力（歴史や自然、文化、人材等）を生かし、教育活動の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、地域の素材や教育力（歴史や自然、文化、人材等）を生かし、教育活動の充実を図っている。」における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒教職員 80%以上</p>	<p>① 特認校としての特色ある教育活動を学校経営の軸として教育課程に位置付け、学校と家庭・地域の双方向的な関係としての「地域とともにある学校」を実践する。</p> <p>② <u>生活科や社会科・総合的な学習の時間など、地域の素材や教育力を生かした学習活動を意図的・系統的に取り入れる。</u></p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 84.3% 教職員の肯定的回答 100%</p> <p>【次年度の方針】 ① 特認校としての特色ある教育活動を学校経営の軸として教育課程に位置付け、学校と家庭・地域の双方向的な関係としての「地域とともにある学校」を実践する。 ② <u>生活科や社会科・総合的な学習の時間などの年間指導計画を見直すと共に学校行事との関連を図りながら、地域の素材や教育力を生かした学習活動を意図的・系統的に取り入れる。</u></p>
------------------	---	--	--

### 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<p>・80%以上の肯定的な回答を得た項目は、児童評価 18/22、保護者評価 16/21、地域住民評価 13/13、教職員評価 25/27である。全体として学校教育に対する満足度及び達成感が高い。今年度、全体アンケートの評価項目が大幅に変更され、昨年度との比較は容易ではないが、市全体と比較すると、保護者・地域住民からの肯定的回答は高いものの、児童及び教職員の肯定的回答は低いものも見られた。特に、児童においては、今年度新規に評価対象になった項目において、市全体より5ポイント程度低い傾向が見られた。これからのよりよい社会をつくる担い手となる子どもたちを育てるために、「高齢化社会」や「持続可能な社会」、「郷土への理解・愛着（宇都宮学）」などの課題に目を向け、様々な場面で話題にすることにより、意識付けを図っていく。</p> <p>○昨年度課題であった「あいさつ」については、学年ごとやペア学年、小中合同のあいさつ運動などを実施することで、改善されてきた。登校時や土曜授業の折には、保護者の協力も得てあいさつ運動を行い、あいさつへの意識を高めることができた。引き続き、保護者に参加を呼びかけてあいさつ運動を実施するなど大人があいさつの模範となるよう、意識の高揚や啓発活動を続けていきたい。</p> <p>・教職員の熱心な学習指導やきめ細かな児童への対応については、授業参観を7月にも設け、実態を保護者に見ていただいたり、児童の様子を機会を捉えて伝えたりしたことにより、理解を深めていただいた。継続して指導に当たっていく。</p>
---

## 7 学校関係者評価

<p>・「宇都宮のよさ」については、他地域と比較することにより見えてくるのではないだろうか。ちなみに、本校のよさは「人のつながり」であろう。小規模特認校として他地区からも多くの児童・保護者が来校し、地域とのふれあいを大切に活動を行っている。</p> <p>・「あいさつ」については、学校が対策を立てて努力している姿が見える。以前、公民館が青少年育成会と協力してあいさつ運動を展開したことがある。地域も巻き込んで、挨拶をしてもらうようにすると全体的に育っていくのではないだろうか。声を掛け合うことは、地域の防犯にも役に立つであろう。</p> <p>・「思いやりの心」に関しては、相手を思いやるいろいろな場面があるが、それを「思いやり」として認識できていないのか。3世代同居の家庭と核家族の家庭では、認識も変わってくる。まずは、親世代の高齢者への接し方を考えることから始めてはどうだろうか。</p>
---

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<p>学校関係者評価では、昨年度肯定的回答率の低かった「あいさつ」について、学校での児童の取組や保護者の方々の協力を得てのあいさつ運動により、一定の効果が得られたことを評価していただけた。また、今年度肯定的回答率の低かった「思いやりの心」については、学校生活だけでなく家庭生活とのかかわりの大切さについてもご意見をいただくとともに、本校のよさであろう「人とのつながり」を活用する方法について助言をいただけた。</p> <p>次年度は、今年度の取組を継続するとともに、本校の特色でもある地域とのふれあい活動を「あいさつ」や「思いやりの心」の育成の場面として活用していきたい。また、「わかる」「できる」を実感できる授業づくりを目指して、個に応じた児童への対応について研究を深め、個々の教員の指導力を高めるなど、継続して指導に当たってきたい。</p>
--

